

この取扱説明書は、本製品をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取り計らいください。当製品を安全にご使用いただくため次の事項をお守りください。また、ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意

- 感電の恐れがありますので、下記の事項をお守りください。
- ・補助電源端子へ接続する場合は、活線状態で行わないでください。
 - ・端子への接続は緩みのないようにしっかりと締め付けてください。
 - ・通電中は端子に触れないでください。
- 次のような場所では使用しないでください。故障、誤動作等の原因となります。
- ・雨、水滴、日光が直接当たる場所。
 - ・高温、多湿やほこり、腐食性ガスの多い場所。
 - ・外来ノイズ、電波、静電気の発生が多い場所。
 - ・振動、衝撃が常時加わったり、又は大きい場所。

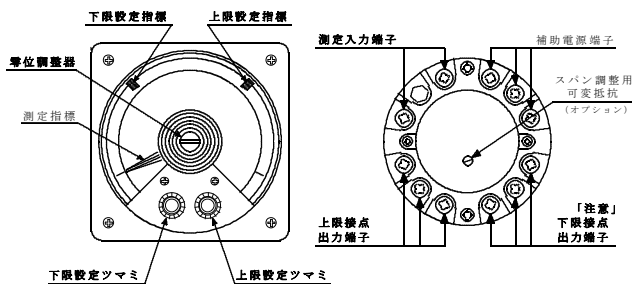
点検

NRW-80がお手元に届きましたら、仕様の違いがないか、また輸送上での破損がないか点検してください。本計器は厳しい品質管理プログラムによるテストを行って出荷しています。品質や仕様面での不備な点がありましたら形名・製品番号をお買い求め先又は当社営業所迄ご連絡ください。

使用上の注意

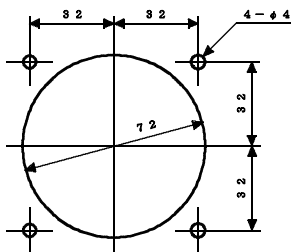
- ①精密計器のため、運搬、取付け、その他取り扱いには十分ご注意ください。
- ②本計器には電源スイッチが付いていませんので、電源に接続すると直ちに動作状態になります。
- ③電源回路にノイズ・サージ等が混入し誤動作、故障が発生する恐れのある場合には適当なノイズ対策が必要です。
- ④本計器がサージ電圧にさらされる危険のある場合には、測定入力端子の片方をアースしてご使用ください。
- ⑤本計器の仕様・規格に適合する範囲でご使用ください。

各部の名称



「注意」形名がNRW-80Hの場合は下限設定ツマミ、設定指標及び接点出力端子がありません。

パネルカット寸法



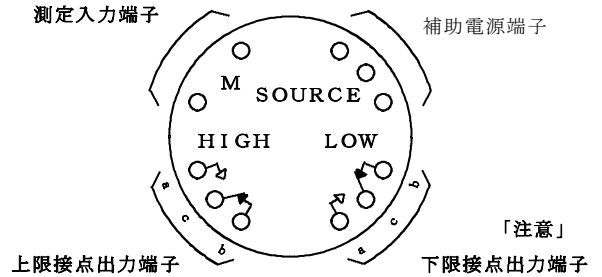
本体の取付方法

パネル前面から本計器を挿入し、つぎにパネル裏面の四隅の取付ボルトに付属のナットをナット回し等で締め付けてください。ナットの適正締め付けトルク：0.36~0.48N・m

配線

本計器の端子はM3ねじです。圧着端子などで正確確実に配線してください。

端子ねじの適正締め付けトルク：0.36~0.48N・m



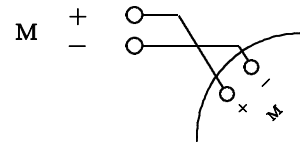
「注意」形名がNRW-80Hの場合は下限接点出力端子がありません。

測定入力端子

測定入力ラインと電源ラインはできるだけ離して配線してください。測定入力ラインと電源ラインが平行に配線されますと指示不安定の原因となります。

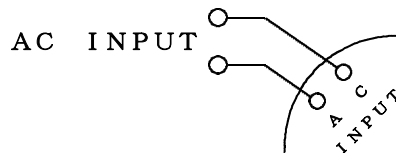
①直流電圧計・直流電流計・受信指示計

極性を間違えないように測定入力を接続してください。また、指定された付属品のある場合は付属品を接続してください。



②交流電圧計・交流電流計

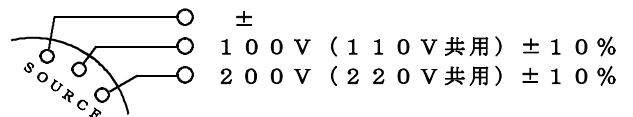
測定入力を接続してください。また、指定された付属品のある場合は付属品を接続してください。



補助電源端子 (SOURCE)

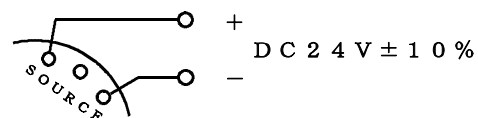
①交流電源仕様

補助電源端子 (SOURCE) には、
AC 100V 電源の時には、端子±、100/110Vに、また
AC 200V 電源の時には、端子±、200/220Vに接続してください。



②直流電源仕様

補助電源端子 (SOURCE) には、DC 24V を極性を間違えないように接続してください。



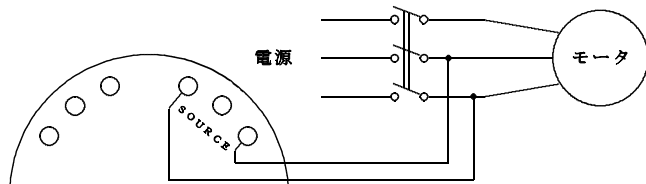
●上限接点出力端子（HIGH）、下限接点出力端子（LOW）

上限接点出力、下限接点出力の接点容量は、
抵抗負荷にて AC 250V, 3A 又は
DC 30V, 3A です。

この容量に合った電線を用いて配線してください。この容量より大きなリレー制御の必要な場合には外部に補助リレーを設けてください。

■オプション仕様

○パワーオンディレイ回路（-T2, -T5, -T10）
パワーオンディレイ回路は、メータリレーの電源投入と同期しますので、電源は測定ラインの電源から供給してください。
（ディレイ時間：-T2：2秒, -T5：5秒, -T10：10秒）



○動作ディレイ回路（1秒～5秒）

動作ディレイは、検出回路動作後の出力リレー動作を遅延させる回路で、瞬時過負荷時などの瞬時警報出力を禁止できます。

（ディレイ時間：最大5秒 要指定）

■運 転

①入力定格、補助電源の電圧を確認し、配線に間違いのないことを確認してください。

②測定を開始する前に、測定指標の零位（入力定格がDC4～20mA又はDC1～5Vの場合には、基準電圧電流発生器などでDC4mA又はDC1Vの信号を測定入力端子に入力したとき）を確認してください。

もし、零位のずれがある場合には、本計器の前面にある零位調整器を回して指標が0を指示するように調整してください。

③上限（又は下限）設定つまみを回して設定指標をリレー動作の希望の位置に設定してください。設定指標は目盛範囲より少しオーバーする位置で止まりますが、それ以上無理に設定つまみを回すと故障の原因となりますのでご注意ください。

④補助電源を投入し測定指標が設定指標（設定点）を越えるとリレーが動作しa-c間はON（導通）、c-b間はOFF（開放）となります。

■校 正

スパン調整用可変抵抗が附属している場合には、長期的確度保持のため約1年毎に校正してください。校正は本計器の前面の零位調整器及び後部のスパン調整用可変抵抗で行ないます。

校正は23℃±5℃、75%RH以下の周囲条件で行なってください。

保証について

1) 保証期間

製品のご購入後又はご指定の場所に納入後1年間と致します。

2) 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責任と明らかに認められる原因により当社製品に故障を生じた場合は、故障品の交換又は当社工場において無償修理を行います。

ただし、次項に該当する場合は保証の範囲外と致します。

- ①カタログ、取扱説明書、クイックマニュアル、仕様書などに記載されている環境条件の範囲外での使用
- ②故障の原因が当社製品以外による場合
- ③当社以外による改造・修理による場合
- ④製品本来の使い方以外の使用による場合
- ⑤天災・災害など当社側の責任ではない原因による場合

なお、ここでいう保証は、当社製品単体の保証を意味し、当社製品の故障により誘発された損害についてはご容赦いただきます。

3) 製品の適用範囲

当社製品は一般工業向けの汎用品として設計・製造されておりますので、原子力発電、航空、鉄道、医療機器などの人命や財産に多大な影響が予想される用途に使用される場合は、冗長設計による必要な安全性の確保や当社製品に万一故障があっても危険を回避する安全対策を講じてください。

4) サービスの範囲

製品価格には、技術派遣などのサービス費用は含まれておりません。

5) 仕様の変更

製品の仕様・外観は改善又はその他の事由により必要に応じて、お断りなく変更する事があります。

以上の内容は、日本国内においてのみ有効です。

●この取扱説明書の仕様は、2015年4月現在のものです。

TSURUGA 鶴賀電機株式会社

本社営業部 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉1丁目3番23号 TEL 06(6692)6700(代) FAX 06(6609)8115
 横浜営業部 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号 TEL 045(473)1561(代) FAX 045(473)1557
 東京営業部 〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目25番16号 TEL 03(5789)6910(代) FAX 03(5789)6920
 名古屋営業部 〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号ツルガ・カ東別院ビル2F TEL 052(332)5456(代) FAX 052(331)6477

当製品の技術的なご質問、ご相談は下記までお問い合わせください。

技術サポートセンター ☎ 0120-784646
 受付時間: 土日祝日除く 9:00~12:00/13:00~17:00

ホームページ URL <http://www.tsuruga.co.jp/>

この取扱説明書は、本製品をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取り計らいください。本製品を安全にご使用いただくため次の事項をお守りください。また、ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意

感電の恐れがありますので、下記の事項をお守りください。

- ・補助電源端子へ接続する場合は、活線状態で行わないでください。
- ・端子への接続は緩みのないようにしっかりと締め付けてください。
- ・通電中は端子に触れないでください。

次のような場所では使用しないでください。故障、誤動作等の原因となります。

- ・雨、水滴、日光が直接当たる場所。
- ・高温・多湿や、ほこり・腐食性ガスの発生する場所。
- ・外来ノイズ、電波、静電気の発生が多い場所。
- ・振動、衝撃が常時加わる、又は大きな場所。

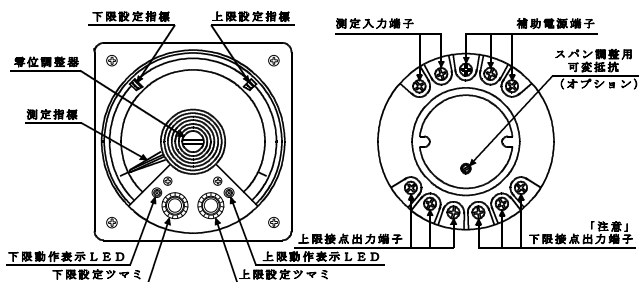
点検

NRW-110がお手元に届きましたら、仕様の違いがないか、また輸送上での破損がないか点検してください。本計器は厳しい品質管理プログラムによるテストを行って出荷しています。品質や仕様面での不備な点がありましたら形名・製品番号をお買い求め先又は当社営業所迄ご連絡ください。

使用上の注意

- ①精密計器のため、運搬、取付け、その他取り扱いには十分ご注意ください。
- ②本計器には電源スイッチが付いていませんので、電源に接続すると直ちに動作状態になります。
- ③接点出力を保持するのにラッチングリレーを使用していますので下記の点にご注意ください。
 - I. 補助電源は、測定入力信号の投入前又は同時に投入してください。測定入力信号の投入後に補助電源を投入しますと、誤動作する場合があります。
 - II. 補助電源を切る場合は、測定入力信号を切った後に行ってください。接点出力の保持中に補助電源を切り再び投入しますと測定指針の位置に関係なく接点出力が保持されます。
 - III. 停電などで補助電源が一時的にOFFになった場合にも上記I, IIの誤動作を生じることがあります。
 - IV. 誤動作した場合は、設定つまみを回して設定指標を一度測定指標と交差させると解除できます。
- ④電源回路にノイズ・サージ等が混入し誤動作、故障が発生する恐れのある場合には適当なノイズ対策が必要です。
- ⑤本計器がサージ電圧にさらされる危険のある場合には、測定入力端子の片方をアースしてご使用ください。
- ⑥本計器の仕様・規格に適する範囲でご使用ください。

各部の名称



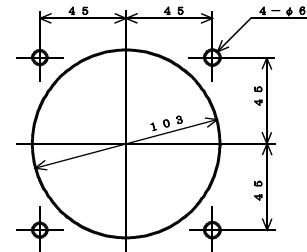
「注意」形名がNRW-110Hの場合は下限設定つまみ、設定指標、動作表示LED及び接点出力端子がありません。

■パネルカット寸法 下図を参照ください。

■本体の取付方法

パネル前面から本計器を挿入し、つぎにパネル裏面の四隅の取付ボルトに付属のナットをナット回し等で締め付けてください。取付ナット4個は袋に入れて本体と同梱していますので、お取り忘れないようお願いいたします。

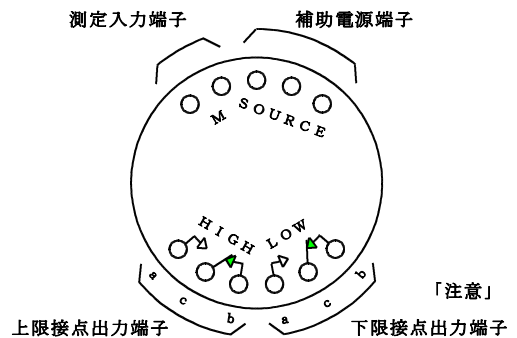
ナットの適正締め付けトルク：1.59~2.16N・m



■配線

本計器の端子はM4ねじです。圧着端子などで正確確実に配線してください。

端子ねじの適正締め付けトルク：0.74~0.88N・m



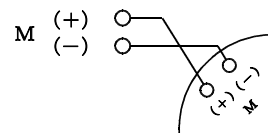
「注意」形名がNRW-110Hの場合は下接続点出力端子がありません。

●測定入力端子

測定入力ラインと電源ラインはできるだけ離して配線してください。測定入力ラインと電源ラインが平行に配線されますと指示不安定の原因となります。

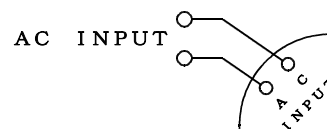
①直流電圧計・直流電流計・受信指示計

極性を間違えないように測定入力を接続してください。また、指定された付属品のある場合は付属品を接続してください。



②交流電圧計・交流電流計

測定入力を接続してください。また、指定された付属品のある場合は付属品を接続してください。



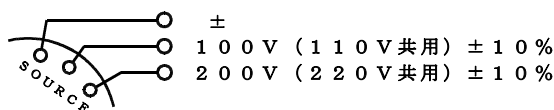
●補助電源端子 (SOURCE)

①交流電源仕様

補助電源端子 (SOURCE) には、

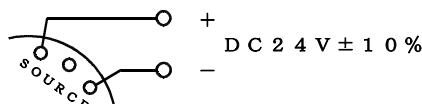
AC 100V電源の時には、端子±、100/110Vに、また

AC 200V電源の時には、端子±、200/220Vに接続してください。



②直流電源仕様

補助電源端子 (SOURCE) には、DC 24Vを極性を間違えないように接続してください。



●上限接点出力端子 (HIGH)、下限接点出力端子 (LOW)

上限接点出力、下限接点出力の接点容量は、

抵抗負荷にて AC 250V, 3A又は

DC 30V, 3Aです。

この容量に合った電線を用いて配線してください。この容量より大きなリレー制御の必要な場合には外部に補助リレーを設けてください。

■運 転

①入力定格、補助電源の電圧を確認し、配線に間違いのないことを確認してください。

②測定を開始する前に、測定指標の零位 (入力定格がDC 4~20mA又はDC 1~5Vの場合には、基準電圧電流発生器などでDC 4mA又はDC 1Vの信号を測定入力端子に入力したとき) を確認してください。

もし、零位のずれがある場合には、本計器の前面にある零位調整器を回して指標が0を指示するように調整してください。

注) 入力定格DC 1~5Vで入力インピーダンスが1MΩ以上の仕様のとき入力端子を開放のまま補助電源を投入しますと、測定指標が上限設定値以上を指示し上限接点出力 (HIGH) がONします。

③上限 (又は下限) 設定つまみを回して設定指標をリレー動作の希望の位置に設定してください。設定指標は目盛範囲より少しオーバーする位置で止まりますが、それ以上無理に設定つまみを回すと故障の原因となりますのでご注意ください。

④補助電源を投入し測定指標が設定指標 (設定点) を超えるとリレーが動作し a-c 間はON (導通)、c-b 間はOFF (開放) となります。

■校 正

スパン調整用可変抵抗が附属している場合には、長期的確度保持のため約1年毎に校正してください。校正は本計器の前面の零位調整器及び後部のスパン調整用可変抵抗で行ないます。

校正は23℃±5℃、75%RH以下の周囲条件で行なってください。

保証について

1) 保証期間

製品のご購入後又はご指定の場所に納入後1年間と致します。

2) 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責任と明らかに認められる原因により当社製品に故障を生じた場合は、代替品の無償提供又は当社工場において無償修理を行います。

ただし、次項に該当する場合は保証の範囲外と致します。

①カタログ、取扱説明書、クイックマニュアル、仕様書などに記載されている環境条件の範囲外での使用

②故障の原因が当社製品以外による場合

③当社以外による改造・修理による場合

④製品本来の使い方以外の使用による場合

⑤天災・災害など当社側の責任ではない原因による場合

なお、ここでいう保証は、当社製品単体の保証を意味し、当社製品の故障により誘発された損害についてはご容赦いただきます。

3) 製品の適用範囲

当社製品は一般工業向けの汎用品として設計・製造されておりますので、原子力発電、航空、鉄道、医療機器などの人命や財産に多大な影響が予想される用途に使用される場合は、冗長設計による必要な安全性の確保や当社製品に万一故障があっても危険を回避する安全対策を講じてください。

4) サービスの範囲

製品価格には、技術派遣などのサービス費用は含まれておりません。

5) 仕様の変更

製品の仕様・外観は改善又はその他の事由により必要に応じて、お断りなく変更する事があります。

以上の内容は、日本国内においてのみ有効です。

●この取扱説明書の仕様は、2021年10月現在のものです。

TSURUGA

鶴賀電機株式会社



当製品の技術的なご質問、ご相談は下記まで問い合わせください。

技術サポートセンター 0120-784646

受付時間: 土日祝日除く 9:00~12:00/13:00~16:00

ホームページ URL <http://www.tsuruga.co.jp/>

大阪営業所 〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1丁目10番6号太陽生命大阪南ビル5F TEL 06(4703)3874(代) FAX 06(4703)3875
名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号パルク東別院ビル2F TEL 052(332)5456(代) FAX 052(331)6477
横浜営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号 TEL 045(473)1561(代) FAX 045(473)1557